

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場会社名 三菱倉庫株式会社

上場取引所 東大

コード番号 9301 URL <http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡本 哲郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 橋本 有一

TEL 03-3278-6611

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	110,911	△12.3	7,959	△16.9	9,061	△16.9	4,481	△20.6
21年3月期第3四半期	126,446	—	9,575	—	10,907	—	5,642	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	25.56	—
21年3月期第3四半期	32.18	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	340,236	202,139	59.0	1,145.65
21年3月期	316,381	186,933	58.8	1,060.87

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 200,864百万円 21年3月期 186,021百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
22年3月期	—	6.00	—		
22年3月期 (予想)				6.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	146,500	△9.0	10,000	△11.7	11,000	△12.6	5,800	△10.3	33.08

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 175,921,478株 21年3月期 175,921,478株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 593,259株 21年3月期 572,829株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 175,339,219株 21年3月期第3四半期 175,361,666株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 平成 22 年 3 月期の個別業績予想 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	△11.3	9,300	△14.7	10,500	△14.3	5,600	△13.7	31.93

- (注) 1. 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 有
2. 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期（平成21年4月1日～平成21年12月31日）のわが国経済は、中国をはじめとするアジア向けを中心に輸出や生産に持ち直しの動きがみられたものの、設備投資が減少したほか雇用情勢も悪化し、引き続き低調に推移しました。

こうした経済情勢にあつて、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、国内外の景気悪化の影響により輸出入貨物が大幅に減少し、また不動産業界においてビル賃貸事業では、需給の緩みにより空室率が上昇し賃料の低下がみられるなど、いずれも厳しい状況のうちに推移しました。

このような状況の下、当社グループは積極的な営業活動を推進し、物流事業では、医薬品等の配送センター業務の取扱拡大、海外拠点の拡充等に努め、また不動産事業では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めるとともに横浜ポートサイド地区で超高層オフィスビル「横浜ダイヤビルディング」の建設を進め、当四半期末に竣工・稼働となりました。他方、コスト管理の徹底と業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、**営業収益**は、物流事業で前期後半に稼働した埼玉／三郷配送センターの寄与等により医薬品の取扱が増加したものの、国内外の景気悪化の影響により全般に荷動きが低下したほか輸出入貨物の取扱が減少したため大幅減収となり、不動産事業でも当四半期末に横浜ダイヤビルディングが新規稼働したものの既存オフィスビル等の需要減退の影響もあり減収となったので、全体として前年同期比155億3千4百万円（12.3%）減の1,109億1千1百万円となりました。また**営業原価**は、物流事業で貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が大幅減少したため、全体として前年同期比142億7千2百万円（12.7%）減の981億9千3百万円となり、**他方販売費及び一般管理費**は、連結子会社の増加等により、同3億5千3百万円（8.0%）増の47億5千8百万円となりました。

このため、**営業利益**は、物流、不動産の両事業で減益となったので、全体として前年同期比16億1千6百万円（16.9%）減の79億5千9百万円となり、**経常利益**は、同18億4千5百万円（16.9%）減の90億6千1百万円となりました。また**四半期純利益**は、投資有価証券評価損（約15億円）を特別損失に計上したこともあり、前年同期比11億6千1百万円（20.6%）減の44億8千1百万円となりました。

## （セグメント別の概況）

## (1) 倉庫・港湾運送等の物流事業

倉庫・陸上運送の両事業は、前期後半に稼働した埼玉／三郷配送センターの寄与等により医薬品の取扱が増加したものの、国内外の景気悪化の影響により全般に荷動きが低下したため、営業収益は倉庫事業で前年同期並みの197億3千6百万円、陸上運送事業で前年同期比5.4%減の181億4千9百万円となりました。また港湾運送事業は、コンテナ貨物等の取扱が大幅減少したため、営業収益は前年同期比16.2%減の134億1百万円となり、国際運送取扱事業は、輸出入貨物の取扱が大幅減少したほか海上・航空運賃単価下落や為替円高の影響もあり、営業収益は同30.8%減の242億4千3百万円となりました。

この結果、物流事業全体の営業収益は、前年同期比150億6千4百万円（15.3%）減の836億3千2百万円となりました。また営業費用は、貨物取扱量の減少に伴い作業運送委託費が大幅減少したため、埼玉／三郷配送センターの通期稼働等に伴い減価償却費が増加したものの、前年同期比138億7千6百万円（14.6%）減の810億9千万円となりました。このため営業利益は、前年同期比11億8千8百万円（31.9%）減の25億4千1百万円となりました。

## (2) 不動産事業

主力の不動産賃貸事業は、当四半期末に横浜ダイヤビルディングが新規稼働したものの既存オフィスビル等の需要減退の影響もあり、営業収益は前年同期比1.8%減の230億3百万円となりました。また設計施工事業等の収入は、前年同期並みとなりました。

この結果、不動産事業全体の営業収益は、前年同期比4億2千2百万円(1.5%)減の283億8千9百万円となりました。また営業費用は、横浜ダイヤビルディングの新規稼働に伴う不動産取得税等の一時費用を計上したものの、既存オフィスビル等における定率法計算に伴う逓減により減価償却費が減少したこともあり、前年同期比7千3百万円(0.4%)減の199億5百万円となりました。このため営業利益は、前年同期比3億4千8百万円(3.9%)減の84億8千3百万円となりました。

## セグメント別営業収益

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比増減(△印減)	
			金額	率
	百万円	百万円	百万円	%
物流事業	98,697	83,632	△15,064	△15.3
(倉庫事業)	(19,742)	(19,736)	(△5)	(△0.0)
(陸上運送事業)	(19,191)	(18,149)	(△1,041)	(△5.4)
(港湾運送事業)	(15,987)	(13,401)	(△2,585)	(△16.2)
(国際運送取扱事業)	(35,032)	(24,243)	(△10,788)	(△30.8)
(その他)	(8,744)	(8,100)	(△643)	(△7.4)
不動産事業	28,811	28,389	△422	△1.5
(不動産賃貸事業)	(23,415)	(23,003)	(△411)	(△1.8)
(その他)	(5,396)	(5,385)	(△10)	(△0.2)
セグメント間取引消去	△1,062	△1,110	△48	-
合計	126,446	110,911	△15,534	△12.3

(注)セグメント間取引消去は、物流事業と不動産事業の営業収益に含まれるセグメント間取引分の消去である。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、横浜ダイヤビルディング建設等の設備投資による支出等に伴い「有価証券(内容は譲渡性預金による運用資金)」が減少したものの、横浜ダイヤビルディング竣工に伴い「建物及び構築物」等が増加したほか、株式相場回復に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比238億5千4百万円増の3,402億3千6百万円となりました。

他方当第3四半期末の負債合計は、第5回無担保社債の償還に伴い「1年内償還予定の社債」が減少したものの、新規借入に伴い「長期借入金」等が増加したほか、株式相場回復に伴い「繰延税金負債」が増加したため、前期末比86億4千8百万円増の1,380億9千6百万円となりました。

また当第3四半期末の純資産は、四半期純利益の計上等により「利益剰余金」が増加したほか、株式相場回復に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比152億5百万円増の2,021億3千9百万円となりました。

この結果、当第3四半期末の自己資本比率は、前期末を0.2ポイント上回る59.0%となりました。

## (2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却による資金留保等により、96億2千7百万円の増加となりました。

当第3四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出等により、182億2千7百万円の減少となりました。

当第3四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出等により、62億5千8百万円の減少となりました。

この結果、当第3四半期の連結キャッシュ・フローは、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額(1千6百万円の増加)及び連結範囲の変更に伴う増減額(19億4千8百万円の増加)を加えた全体で128億9千2百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は267億4千9百万円となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績は、物流事業で前期後半に稼働した埼玉／三郷配送センターの寄与等により医薬品の取扱が増加するものの、国内外の景気悪化の影響により全般に荷動きが低下するほか輸出入貨物の取扱が減少し、不動産事業でも当四半期末に大型賃貸ビル「横浜ダイヤビルディング」が新規稼働したものの、既存オフィスビル等の需要減退の影響や設計施工事業の受注減少が見込まれるため、全体として前期を下回ると予想されます。

当第3四半期の業績は、概ね中間時予想(平成21年10月30日発表の予想数値)に沿って進捗しておりますが、業務の効率化やコスト管理の徹底等により物流事業を中心に営業利益の減少額圧縮が見込まれるため、通期連結業績予想について、次のとおり営業利益及び経常利益を増額修正いたします。(なお、当期純利益については、一部の保有株式の時価低下に伴い投資有価証券評価損(約15億円)を特別損失に計上していることもあり、据え置くことといたします。)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	146,500	9,500	10,500	5,800	33 08
今回修正予想(B)	146,500	10,000	11,000	5,800	33 08
増減額(B-A)	-	+ 500	+ 500	-	-
増減率(%)	-	+ 5.3%	+ 4.8%	-	-
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	160,977	11,321	12,584	6,464	36 87

## 《参考》

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	125,000	9,100	10,300	5,800	33 07
今回修正予想(B)	125,000	9,300	10,500	5,600	31 93
増減額(B-A)	-	+ 200	+ 200	△ 200	-
増減率(%)	-	+ 2.2%	+ 1.9%	△ 3.4%	-
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	140,849	10,899	12,247	6,491	37 00

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,689	21,197
受取手形及び営業未収金	21,736	19,191
有価証券	5,100	19,038
販売用不動産	3,753	785
繰延税金資産	1,296	1,700
その他	3,503	3,088
貸倒引当金	△81	△52
流動資産合計	57,999	64,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	114,816	98,993
機械装置及び運搬具(純額)	4,071	4,459
土地	57,333	56,878
建設仮勘定	442	3,264
その他(純額)	2,328	1,891
有形固定資産合計	178,992	165,486
無形固定資産		
借地権	6,730	6,730
その他	2,287	2,426
無形固定資産合計	9,017	9,156
投資その他の資産		
投資有価証券	85,703	68,828
長期貸付金	911	767
繰延税金資産	1,891	1,923
その他	5,970	5,637
貸倒引当金	△133	△126
投資損失引当金	△117	△241
投資その他の資産合計	94,225	76,789
固定資産合計	282,236	251,432
資産合計	340,236	316,381



(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	13,882	12,693
短期借入金	14,824	11,928
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	988	2,304
取締役賞与引当金	22	40
その他	11,437	8,559
流動負債合計	41,155	45,527
固定負債		
社債	24,000	24,000
長期借入金	11,261	8,101
長期預り金	31,879	30,670
繰延税金負債	15,539	8,331
退職給付引当金	13,923	12,549
役員退職慰労引当金	164	131
その他	173	136
固定負債合計	96,941	83,921
負債合計	138,096	129,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,393	22,393
資本剰余金	19,618	19,618
利益剰余金	132,796	129,716
自己株式	△647	△626
株主資本合計	174,160	171,102
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	28,369	16,604
繰延ヘッジ損益	—	△16
為替換算調整勘定	△1,665	△1,669
評価・換算差額等合計	26,703	14,919
少数株主持分	1,275	911
純資産合計	202,139	186,933
負債純資産合計	340,236	316,381

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業収益		
倉庫保管料	12,213	12,394
倉庫荷役料	7,528	7,342
陸上運送料	19,191	18,149
港湾荷役料	15,985	13,400
国際運送取扱料	35,032	24,243
不動産賃貸料	24,761	24,232
その他	11,733	11,148
営業収益合計	126,446	110,911
営業原価		
作業運送委託費	58,054	42,136
人件費	17,335	20,104
施設賃借費	4,562	4,416
減価償却費	8,035	8,391
その他	24,476	23,144
営業原価合計	112,465	98,193
営業総利益	13,981	12,718
販売費及び一般管理費	4,405	4,758
営業利益	9,575	7,959
営業外収益		
受取利息	226	100
受取配当金	1,729	1,157
持分法による投資利益	174	78
その他	362	516
営業外収益合計	2,492	1,853
営業外費用		
支払利息	917	666
その他	243	85
営業外費用合計	1,160	751
経常利益	10,907	9,061
特別利益		
固定資産処分益	—	32
投資有価証券売却益	—	42
退職給付引当金戻入額	77	—
施設解約補償金	938	24
特別利益合計	1,015	99
特別損失		
固定資産処分損	448	233
固定資産臨時償却費	530	—
投資有価証券評価損	1,732	1,508
投資損失引当金繰入額	27	—
特別損失合計	2,739	1,741
税金等調整前四半期純利益	9,183	7,418
法人税等	3,487	2,974
少数株主利益又は少数株主損失(△)	52	△37
四半期純利益	5,642	4,481

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,183	7,418
減価償却費	8,214	8,593
固定資産臨時償却費	530	—
引当金の増減額(△は減少)	180	239
受取利息及び受取配当金	△1,955	△1,258
支払利息	917	666
投資有価証券評価損益(△は益)	1,732	1,508
売上債権の増減額(△は増加)	564	△2,020
販売用不動産の増減額(△は増加)	9	△2,968
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,867	960
預り金の増減額(△は減少)	△979	1,434
その他	△1,476	△927
小計	15,053	13,647
利息及び配当金の受取額	2,013	1,285
利息の支払額	△1,014	△869
法人税等の支払額	△5,508	△4,436
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,543	9,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△23,070	△18,330
固定資産の売却による収入	37	55
投資有価証券の取得による支出	△434	△398
投資有価証券の売却による収入	548	616
その他	△7	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,926	△18,227
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入金の純増減額(△は減少)	△2,044	5,910
社債の発行による収入	14,000	—
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△2,106	△2,105
その他	△52	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,796	△6,258
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,681	△14,841
現金及び現金同等物の期首残高	36,727	39,642
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	383	1,948
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,430	26,749

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	倉庫・港湾 運送等の 物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業収益	98,450	27,995	126,446	-	126,446
(2) セグメント間の営業収益又は振替高	246	816	1,062	( 1,062 )	-
計	98,697	28,811	127,509	( 1,062 )	126,446
営業利益	3,730	8,832	12,562	( 2,986 )	9,575

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	倉庫・港湾 運送等の 物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連 結 (百万円)
営業収益					
(1) 外部顧客に対する営業収益	83,352	27,558	110,911	-	110,911
(2) セグメント間の営業収益又は振替高	280	830	1,110	( 1,110 )	-
計	83,632	28,389	112,022	( 1,110 )	110,911
営業利益	2,541	8,483	11,025	( 3,066 )	7,959

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。